

県中学校駅伝大会 女子が第3位に輝く

第72回県中学校駅伝競走大会が11月12日、渋川市総合公園瑞穂建設スタジアムおよび周辺コース(女子5区間11.01km、男子6区間16.7km)で行われました。

富岡甘楽地区大会で優勝した甘楽中学校女子駅伝部(1区:諏訪沙枝(3年)、2区:倉林万優(2年)、3区:堀越柚葵(1年)、4区:田中伶奈(2年)、5区:黒澤 碧(3年))は、41分09秒で堂々の3位入賞を果たし、12月4日に東京都八王子市で行われる関東大会への出場を決めました(敬称略)。また、女子4区を走った田中さんが区間賞に輝きました。



5年連続入賞の女子駅伝部

大会には、地区大会で準優勝した男子駅伝部も出場し健闘しました。駅伝部は、部の垣根を越えて結成され、夏から厳しい練習に耐えてきました。選手たちの最後まで走り抜く姿は凛々しく、応援する人々の心を熱くさせました。

なお、1区を走った諏訪さんは、8月に行われた第53回U16陸上競技会県予選・女子1000mの優勝を経て、10月21日に愛媛県総合運動公園陸上競技場で開催された本選に出場する活躍を見せました。



走り終え笑顔を見せる諏訪さん

青年農業士に認定 活躍に期待 三木さん



群馬県青年農業士の認定書交付式が、11月17日に県庁昭和庁舎正庁の間で行われ、三木紫苑さん(福島)が認定を受けました。

これは、将来、地域の実践的リーダーへ発展することが期待できる経営を行っている若手農業者を認定するものです。

三木さんは、平成24年に就農しキュウリ農家である父親の下で経験を積み、今年から地域の空きハウス15aを新たに借りて経営を独立させ栽培を行っています。

三木さんは「今後も先輩の皆さんにご指導いただきながら、安定的に経営できるよう夫婦2人で頑張りたい。将来的には機械導入や雇用の創出も視野に入れ、経営を拡大していきたい」と意欲を話されました。

養蚕業の振興発展に貢献 黒澤さん

「シルク和紙」で作られています
賞状は桑の皮を織り交ぜた



(一財)大日本蚕糸会の蚕糸功労者表彰式が10月28日、東京都内で行われました。同表彰は、蚕糸絹業の振興発展に寄与した功績をたたえるため毎年実施しているもので、黒澤 篤さん(白倉)が蚕糸功労賞を受賞しました。

黒澤さんは幼い頃から家業の養蚕に親しみ、自身も46年間養蚕業に従事してきました。現在も、甘楽富岡蚕桑研究会さんそうの副会長としてマルベリー(桑の実)を使ったジャムやワインの加工に携わるなど、養蚕業の振興に貢献しています。

「研究会の仲間がいたからこそ今まで続けてこられました。今後も養蚕業に精進し、伝統産業を絶やさないようにしていきたい」と受賞の喜びを語られました。

永年にわたり公平委員として活躍 広沢さん

広沢巧治さん(福島)が、公平委員会制度70周年記念総務大臣表彰を受賞しました。

広沢さんは、平成19年から3期12年間にわたり公平委員会委員を務め、平成25年からは委員長としても活躍されました。中立的な立場で町職員の利益の保護や公正な人事権行使の保障などに努め、地方行政の民主的かつ能率的運営の実現に貢献されました。

広沢さんは「この受賞は個人の力だけではなく、町長をはじめ関わってくれた多くの人々のおかげです。今後も住みよい町づくりに役に立てることがあれば幸いです」と話されました。



犯罪や非行からの立ち直り支援に尽力



保護司、更生保護女性会の皆さん

11月10日、第67回群馬県更生保護大会が富岡市かぶら文化ホールで開かれ、犯罪や非行をした人の社会復帰を支援し、安全安心な社会づくりに功労のあった皆さんが表彰されました。

保護司

- ◎全国保護司連盟理事長表彰 松浦彰一さん(善慶寺)
- ◎群馬県知事感謝状 安藤幸隆さん(秋畑)
- ◎関東地方更生保護委員会委員長表彰 田村清子さん(秋畑)
- ◎前橋保護観察所長表彰 白石豊樹さん(善慶寺)

更生保護女性会

- ◎群馬県知事感謝状 中野恵理子さん(国峰)
- ◎関東地方更生保護女性連盟会長表彰 吉田ひろ子さん(上野)
- ◎前橋保護観察所長感謝状 金井洋子さん(小川)
- ◎群馬県更生保護女性連盟会長表彰 田中洋子さん(上野)
- ◎群馬県更生保護女性連盟会長表彰 仲重美子さん(上野)
- ◎群馬県仏教保護会理事長感謝状 甘楽支部更生保護女性会

関東初制覇！群馬ジュニアハンドボールクラブ男子

第38回関東少年少女ハンドボール大会が10月22日・23日に小瀬スポーツ公園体育館(山梨県甲府市)ほかで開催されました。

甘楽富岡地域を中心に町内の小学生が多数所属する群馬ジュニアハンドボールクラブ(齋藤英邦監督・吉田 智コーチ)男子が優勝し、群馬県勢初となる関東大会制覇という偉業を成し遂げました。

また、同クラブ女子も大会ベスト8に輝きました。



甘楽中学校体育館を練習拠点に活動しています

7 度目の栄冠に輝く 卓球男子 武藤さん



第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」の卓球が10月29日・30日にTKCいちごアリーナ(栃木県鹿沼市)で開催され、卓球男子で武藤暢久さん(福島)が金メダルに輝きました。

武藤さんは、中学・高校と卓球部に所属した後、一時卓球からは離れていましたが、20代半ばで健康のためにと再開。その後、練習を積み重ね、同大会には8度出場し今回が7回目の優勝となりました。

現在も週2回の練習を欠かさないという武藤さんは「甘楽富岡地域の卓球を盛んにしていきたい。そのためにも1日でも長く卓球を続け、これまでの経験を後輩たちに伝えていきたい」と思いを語られました。

地域をきれいに シルバー人材センター

甘楽町シルバー人材センターの会員互助会(堀口 昇会長)は10月26日、昨年に引き続き「健康ボランティア活動」を実施しました。

地域の美化活動を行いながら、ウォーキングによる健康増進と会員同士の親睦を深めることを目的に会員44人が参加し、気持ちのよい青空の下5班に分かれて紅葉山周辺や八幡山、甘楽ふれあいの丘などのごみ拾いを行いました。

堀口会長は「大勢の会員が参加し有意義な時間を過ごせました。年に一度ではなく定期的にボランティア活動を実施し、シルバー人材センターの恒例行事にしていきたい」と抱負を語られました。



町をきれいにしながら楽しく歩いた会員の皆さん